

平田オリザさんと創る 【表現力を磨く演劇ワークショップ】



講師

劇作家・演出家、青年団主宰。芸術文化
観光専門職大学学長。江原河畔劇場・
こまばアゴラ劇場 芸術総監督。
豊岡演劇祭フェスティバル・ディレクター

平田 オリザ Hirata Oriza

©青木 司

【丸の内キャンパス】対面(丸の内キャンパスのみ)で開催します。

演劇のメソッドで体感するコミュニケーションと表現

国際化時代におけるコミュニケーション能力とはなにか、なぜ、演劇や芸術に触れることがコミュニケーションのツールとして重要なのか、じっくりと考え経験していきます。表現力やコミュニケーション能力がすぐ身につくとか、人生観が変わるといったキャッチーな触れ込みありませんが、確実に、参加者の世界観を広げるお手伝いはできていると思っています。

どなたでも参加いただけるメソッドで進めますので演劇経験の必要はありません。

身体と頭と心をほぐし、表現リテラシーを磨きましょう。

平田オリザ

1 [10:00-13:00] コミュニケーション能力 とはなにか

4・21 | 日

緊張をほぐし、リラックスした状態でプログラムに参加できるよう簡単なコミュニケーションゲームから始めます。さまざまなゲームを体験し、イメージの共有しやすいものから、次第にイメージの共有しにくいもの(人間の心)をどのように伝えるのか、コミュニケーションの本質を考えます。

コミュニケーションゲームの体験 【創作1】戯曲の構造

人間は、ともすれば一つのこと意識を集中しがちです。演劇でも、台詞に集中するだけではリアルな演技をすることはできません。台詞の意味内容に集中しすぎることなく、声の大きさ、トーン、表情、身体の動かし方などへ意識を分散するトレーニングを行います。

【テキスト1】意識を分散する 【創作2】設定を考える

3 [10:00-13:00] コンテキストをすり合わせる

5・12 | 日

一つの言葉から受けるイメージ、言語に関する行動は、国、民族、文化はもちろん、一人ひとり異なります。相手はどのような意味でその言葉を使っているのか、「コンテキストのズレ」に気づき、「コンテキストのすり合わせ」を体験することによって、コミュニケーションの本質を捉えます。

【テキスト2】コンテキストとはなにか 【創作3】登場人物を考える

演出家には、観客の想像力の幅をある程度想定してプランを立てることが求められます。コミュニケーション、とりわけプレゼンテーションに必要な演出の技術について考えます。

【テキスト3】観客の想像力を見積もる 【創作4】プロットを練る

5 [10:00-13:00] 物語の構造

5・19 | 日

私たちが生きる実人生は複雑系の中にあり曖昧であり、その一部だけを切り取って表現することはできません。現実世界を表現するためには、誰もが理解できる普遍性を物語に折り込むことが大切です。古今東西の物語を支える普遍的な構造はなにか。創作を通じて表現の本質を捉えます。

【テキスト4・5】物語の構造 【創作5】エピソードを集める

6 [14:00-17:00] 創作の喜び・演じる楽しみ

演劇が持つ表現の可能性に最大限に触れます。グループ発表の準備、発表、講評、相互批評を通して、協働で無から何かを創り上げる喜び、演じる楽しみを味わいます。

【創作6】台詞を考える グループ創作・発表

演じる

テキスト(1~2分程度の短い台詞の台本)に沿って役割を演じることで、コンテキスト(場の流れ)を身体で感じ、理解します。

創る

全回を通して数名のグループでミニ戯曲を【創作】し、セッション6で発表します。

ワークショップについて

ワークショップでは実際に身体を動かすため、動きやすい服装でご参加ください。スカート、高いヒールのある靴・サンダルなどでの参加はご遠慮ください。

当日は、キャンパス内に着替えのためのスペースを設置いたします。

貴重品等の管理は各自でお願いいたします。

開催概要

日程	2024年 4/21、5/12、5/19 (すべて日曜日) 2セッション×3日間
開催形態	丸の内キャンパス(対面)
回数	6回
時間	10:00-17:00 (休憩1時間)
定員	20名
会場	慶應丸の内シティキャンパス
参加費	110,000円(税込)
おすすめしたい方	<ul style="list-style-type: none">・身体を動かしながら自己表現・プレゼンテーションの力を高めたい方・グローバルなコミュニケーション力を探求したい方・新デザイン、新サービスなど抽象的概念や目に見えないものを他の人に伝えたい方・文化行政、芸術教育に関心のある方
詳細・申込み	

講師プロフィール

平田 オリザ(ひらた おりざ)

1962年東京生まれ。国際基督教大学教養学部卒業。
1995年『東京ノート』で第39回岸田國士戯曲賞受賞。1998年『月の岬』で第5回読売演劇大賞優秀演出家賞、最優秀作品賞受賞。
2002年『上野動物園再々々襲撃』(脚本・構成・演出)で第9回読売演劇大賞優秀作品賞受賞。
2002年『芸術立国論』(集英社新書)で、AICT評論家賞受賞。2003年『その河をこえて、五月』(2002年日韓国民交流記念事業)で、第2回朝日舞台芸術賞グランプリ受賞。2006年モンブラン国際文化賞受賞。2011年フランス文化通信省より芸術文化勲章シュヴァリエ受勲。2019年『日本文学盛衰史』で第22回鶴屋南北戯曲賞受賞。
(公財)舞台芸術財団演劇人会議理事、日本演劇学会理事、(一財)地域創造理事、豊岡市文化政策担当参与、宝塚市政策アドバイザー、枚方市文化芸術アドバイザー。

主な著書

『但馬日記 演劇は町を変えたか』(岩波書店)
『名著入門 日本近代文学50選』(朝日新書)
『ともに生きるための演劇』(NHK出版学びのきほん)
『22世紀を見る君たちへ -これから生きるための「練習問題」-』(講談社現代新書)
『演劇入門』『下り坂をそろそろと下る』(講談社現代新書)
『ニッポンには対話がない-学びとコミュニケーションの再生』(三省堂)
『わかりあえないことから-コミュニケーション能力とは何か』(講談社現代新書)
『幕が上がる』(講談社文庫)
『対話のレッスン 日本人のためのコミュニケーション術』(講談社学術文庫)

本講座は【丸の内キャンパス】形態で開催いたします。お申し込みにあたっては下記をご確認下さい。



丸の内キャンパス

丸の内キャンパス開催

- ・対面(丸の内キャンパスなど)のみでの開催です。
- ・オンライン配信はありません。

お問い合わせ

東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル10階 株式会社慶應学術事業会
TEL:03-5220-3111 info@keiomcc.com

